

「小河内」便り第12号 平成23年6月

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト（理事長 渡辺眞作）



事務所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3

安佐小河内集会所内

TEL & FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

当地方は梅雨に入っていますが沖縄ではもう梅雨明けを報道していました。

空梅雨、それとも大雨、猛暑、冷夏、天候のことを心配してもどうにもなりません、農作物は天候に左右されますので、農家にとって天候は気になります。

「この秋は雨が嵐かしらねども、今日のつとめに田草取るなり」(二宮尊徳)

作付けした苗が成長し、収穫寸前に台風等で収穫できないかも知れない、しかし今はとにかく目の前の雑草を取り除くことが大切だ。明日のことにあれこれ心配するより、今日の務めを一生懸命することが大切だ、と幕末の農村復興指導者であり篤農家、道徳指導者であった二宮尊徳翁は言っています。さて、NPO 法人設立から2月余り経過したこれまでの事業実施状況等報告します。

活動報告

1・農地、農業保全事業

小河内の農業（農地、農道、水路等の管理保全や休耕地）を地区全体で守ります。

中山間地等直接支払制度を利用し、計画通り約120戸、50%の田んぼに田植えが終わりました。苗は自然の力で順調に成長しています。

2・都市住民との交流事業

都市住民と交流を通じて小河内の活性化を図ります。

5月29日（日）白島商店会から22家族45名参加、田植えや食事会等で交流しました。

雨天の中、地元の指導で専用の農園にさつまいも植えや田植え（酒米作り）をしました。地元につながる伝承話の紙芝居や食事で交流、又地元で採れる農産物の販売も行い、直ぐ売り切れました。今後、草刈りや稲刈り以外にも相互の祭り参加や農産物販売等で継続的に交流を続け、都市住民を受け入れ小河内の活性化を図ります。



雨の中の田植え（遠方は小河内小学校と滝山）



親子でさつまいも植え



小河内・渡辺理事長（左）と白島・隠居会長



集会所で一緒に記念撮影

ハウス食品「食と農と環境の体験教室・広島」を行いました。

ハウス食品が「食と農と環境の体験教室・広島」に参加する親子をホームページで募集、6月4日(土)抽選で選ばれた10家族、30名が広島市内から貸切りバスや自家用車で参加しました。田植えや草刈り、稲刈り、収穫祭等の農業体験を通じて「食と農と環境」の大切さを知ってもらうことが目的。当地はこれを受け入れることで、地区の活性化を図ります



初めて田植え体験する親子、素足です。



集会所で記念撮影



カレーづくりに挑戦、親子の会話が弾む



ホタルかご作り、親切に教えてもらいうまくできたよ、と手にする子供

3・U（I）ターン促進事業

小河内の人、自然、農業、歴史、文化等の魅力を都市住民に交流を通じて伝え、小河内への定住促進を目的にする事業です。

ツーリズム（歴史探索コース）7月9日（詳細別掲）

古い歴史・文化を誇る養山八幡神社の自然や吹き囃子行事、又安楽寺内にある西福寺と殿之城主小河内弥太郎にまつわる話を解説します。

安楽寺庭から小河内小学校や牛頭山が眼前に聳え、眺める景色は絶景です。

又、新聞等の報道やクチコミから、計画しているツーリズム以外にもNPO団体や都市住民グループから問い合わせや訪問者が増えており、一定の人数が揃えばオプションツーリズムを計画します。

空き家

現在、市役所が行った空き家アンケート調査に基づき貸主と条件等を取りまとめ中。問い合わせや数名の入居希望者があり、今後地元自治会等関係者と調整の上マッチング作業に入る予定です。

4・小河内どんどん農園

休耕田を利用し、配食用の材料として使用するほか、ツーリズム等で訪れる都市住民に野菜のもぎ取り販売で小河内の農業をPRするNPO小河内Oプロジェクト農園です。

現在、玉ネギ、ジャガイモ、トウモロコシ等を植え付け、順調に生育中です。

都市住民やツーリズムに参加される方に、もぎ取り（販売）を体験していただきたいと、思っておりますが、現時点（本号の発行日）で収穫できる日時等が不明のため、お示しできません。

（次回の発行日は8月末の予定です）

ホームページでお知らせする予定です。ご希望の方はホームページをご覧ください。

5・雇用創出と経済活性化事業

小河内に働く場を作り経済的發展を図る事業です。

「弥太郎君」がいよいよ6月下旬からホームセンターで販売開始されます。

大手ホームセンターが採用を決定、6月下旬チラシで広告、一部の店舗で販売開始されます。

（1袋600g、398円）今後、バーベキューシーズンに入り相当数の需要が見込まれ生産、出荷体制を急いでいます。増産体制のため、助成金で炭焼き窯の建設を計画しています。



「弥太郎君」。環境保全と過疎地のまちづくりが調和する商品。使用済み割り箸炭、木炭、杉枯葉を1袋にセット。バーベキューに便利で経済的。右は出荷前の商品、1ケースに20袋入り。

炭焼き釜を築く講座を開始、このボランティアを募ります。

講座内容は、基礎研修（座学で炭焼き釜の基本を学ぶ）基礎づくり、窯本体構築、窯天井構築、上屋建築、試運転等です。ご経験のある方、興味のある方は事務局までお名前、連絡先等お知らせいただければ、幸甚でございます。日程等決まればご希望の方に個別にお知らせします。

尚、参加される方は、保険料等として、参加費を頂戴しますことご承知おき下さい。

モクズカニ養殖（実験）

3年目に入り大きいもので体長4センチ以上に成長。現在推定大小1,000匹余が生育中。今後の成長具合や数量、時期等を関係者と協議の上（来年度以降になる見込み）販売方法等を決めます。

6・有料配食事業

地元産の食材を使用し、住民の利便性供与と健康を、又見守りを兼ねる配食事業です。

月4回調理、夕食までに配達、1回あたり25名前後の利用者です。

7・アイデアやご意見などお聞かせ下さい

NPO法人運営や事業について、地域住民の声や支援者の方々のご意見、行政関係者やまちづくりコーディネーター等多くの皆さんのご指導やアドバイスをいただきながら、走りながら考え、考えながら走り、試行錯誤しながら事業を行っています。良いアイデアやご意見、情報等ございましたら是非お聞かせ下さい。

又、スタッフとして小河内を元気にしよう、とお考えの方もご一報いただけると幸甚です。

白島商店会及びハウス「食と農と環境の体験教室・広島」アンケートより

（参加者の声）

両方とも農業未経験者（白島商店会43％）（ハウス推定50％）が多く、田植えやさつまいも植え体験に大変興味を持って参加したことが伺えました。結果は両方ともとても満足した、特に田植え体験が大変良かった、とご回答いただきました。子供たちが（親も）お米のできるまでに多くの労力を要すること、農業の重労働、田んぼに多くの生き物がいること、環境の大切さ、食のありがたさ、等について貴重な体験をして学んだ、又農村の素晴らしさに気づき、小河内との縁、交流ができたことを喜んでいただきました。コメントの一部をご紹介します。

- ・日本人としてコメ作りに関わったことに感動した。
- ・38年間生きてきて初めて田植えをした。本当に食の大切さ、ありがたさを改めて教えていただいた。
- ・田植えは初体験、泥田に入ったのは子供の時以来、田植えの大変さを知ることができた。
- ・普段の生活では経験できない貴重な体験をしたので大満足。
- ・農業の厳しさ、人間同士の協働の大切さを学んだ。
- ・小河内のお米や野菜が新鮮でおいしかった。

しかし、アンケートから、今日農村と都市が如何に離れているか、を痛感しました。都市と農村、それは密接な相互依存、補完関係にありますので、今後ツーリズムを通じて小河内を更に身近に感じていただきたい、思っております。

第1回ツーリズム（歴史探索）のご案内（再掲）

200年続く吹き囃子行事（広島市重要無形文化財）が開催される養山八幡神社と、小河内弥太郎が18歳で切腹したと言われる西福寺、及び安楽寺を見学。

養山八幡神社総代がガイド、小河内の代表的な歴史について説明します。

日時；平成23年7月9日（土）10：00小河内集会所に集合～12：00集会所で解散
少雨決行、大雨の場合は中止します。

コース；養山八幡神社～西福寺、安楽寺（約2時間）

参加費；1人500円（当日受付でお支払い下さい）

申し込み；6月30日（木）までに小河内集会所（電話、FAX 082-835-0831）
又は安佐公民館（電話、FAX 082-835-0111）

持参物；帽子、タオル、飲み物等、尚この行事は午前中で終わりますが、午後地区内を散策等希望される方はオプションツアーも企画いたします。（例：歴史コース1時間、自然コース1時間など）
お弁当や飲み物をご持参下さい。地区内に食堂がありません。

昼食は集会所でどうぞ、地区民の作品を展示したギャラリーや図書室があります。

NPO法人会員募集中です。ご支援をお願い致します（再掲）

小河内地区は、広島市一番の過疎地。その小河内を日本一の元気な田舎「源快集楽」（広島市の「源」となる街、「快」よい暮らしができる街、人が「集」まる街、「楽」しい街）に変えようと、NPO法人を設立、頑張っております。小河内の自然や農業、歴史文化を生かし、都市住民との交流や経済的活力注入で、夢や希望、誇りの持てる小河内を建設したいと、考えています。
NPO法人小河内プロジェクト会員（小河内応援団）の皆様には、このまちづくりの、コア（核）になっていただき、アイデアや情報、そしてお力を賜りたいと存じます。

住んで良かった、住んでみたい、行ってみたい、そして皆様の心の故郷になるような小河内に共に建設していきましょう。どうぞよろしくお願い致します。

会員の種類は正会員、賛助会員の2種類ございます。どちらの会員も当法人の各事業活動に対し率先して参加いただきたいと存じますが、正会員は総会にも参加いただけます。

お問い合わせ等は下記をお願いいたします。

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内4579-3 小河内集会所内

特定非営利活動法人 小河内プロジェクト（tel&fax 082-835-0831）

- | | | | |
|-----|----------|-----|---------|
| (1) | 正会員（個人） | 入会金 | 10,000円 |
| | | 年会費 | 1,000円 |
| (2) | 正会員（団体） | 入会金 | 30,000円 |
| | | 年会費 | 10,000円 |
| (3) | 賛助会員（個人） | 年会費 | 1,000円 |
| (4) | 賛助会員（団体） | 年会費 | 10,000円 |

広島市農業協同組合 安佐支店 普通貯金 0037872

ゆうちょ銀行 五一八 普通貯金 5258213

郵便振替 01380 - 2 - 49418

どれも名義は 特定非営利活動法人 小河内Oプロジェクト

(ヨミガナ: トクテイヒエイリカツドウハウジン オガウチオープロジェクト)

該当の会費を上記口座に振り込み(手数料ご負担)いただければと思います。

J Aから広島市農協 安佐支店への振り込み手数料は無料です。

申込書(登録用紙)にご記入の上、お手数をおかけしますが、上記にご提出(郵送)下さい。

申込書は ホームページ <http://ogauchi.web.fc2.com/html/o-toroku.xls> からダウンロードできます

小河内の今、田植えが済み、苗がどんどん成長しています。



梅雨空に映える青田



たわわに実ったナツグミ(ナツグミ)

編集後記

白島商店会、ハウス食品のイベントで初めて参加した都会の子供たちの農業体験、田んぼに素足で入りヌルヌルした感触や生き物がいることに感動、豊かな自然環境の中に多様な生き物がいること、農作物(お米や野菜等)ができること、農作業の大変さ、食べ物大切さを自からの体験を通じて学んだことでしょう。

当NPO法人会員募集に多くの皆様から入会、又ご寄付をいただきありがとうございます。

小河内は何度もお伝えしておりますが、広島市内で最も高齢化、過疎化の進んだ地区です。

しかし、農村部まで都市化の波が押し寄せている今日、小河内地区は豊かな自然環境の中に農村、農業、歴史文化が残っている貴重な地区として、広島市里ライフ創造のモデル(市民の豊かな生活や生活の質(Q・O・L)を高め、創造する)地区に指定されています。

会員の皆様を始め、多くの市民の皆様に小河内でそれぞれの里ライフを創造していただけるよう、当NPO法人もお手伝いします。小河内を日本一の元気な田舎「源快集楽」を目指して頑張ります。こうしたまちづくりに是非お力添えを賜りますようよろしくお願い致します。(S)